

滋賀県精神保健福祉協会だより



「こころの健康フェスタ2018」報告

二〇一八年十月六日、台風一過の日曜日に「こころの健康フェスタ2018」は皆様のご協力をいただきまして、大津市において「ピアザ淡海」で開催したしました。

会場前のロビーでは、滋賀県精神障害者家族会連合会（鳩の会）主催の当事者による作品展「第十四回楽々展」が開催され、展示物やパンフレットを熱心に見ておられる参加者

を催され、展示物やパンフレットを熱心に見ておられる参加者

れました。また、滋賀県断酒同友会による「お酒で悩んでいますか？（アルコール相談）」も

平成30年度 精神保健福祉事業功労者知事表彰受賞者		
お名前	現所属	職種
成田 実 氏	公益財団法人 豊郷病院	医師
三野 緑 氏	医療法人藤樹会 滋賀里病院	薬剤師
荒田 寛 氏	龍谷大学	教授（精神保健福祉士）

平成30年度 精神保健福祉協会表彰受賞者		
お名前	現所属	職種
村上 純一 氏	医療法人明和会 琵琶湖病院	医師
西河 孝 氏	社会福祉法人青祥会 セフィロト病院	臨床検査技師
北川 めぐみ 氏	一般社団法人 水口病院	栄養士
梅下 球恵 氏	医療法人藤樹会 滋賀里病院	看護師
櫻田 ふみ代 氏	医療法人社団 瀬田川病院	看護師
是洞 崇 氏	一般社団法人 水口病院	精神保健福祉士
秋岡 美紀 氏	医療法人明和会 琵琶湖病院	看護師
細井 孝章 氏	一般社団法人 水口病院	看護師
島口 成博 氏	医療法人藤樹会 滋賀里病院	看護師
吉澤 康雄 氏	こころの会（滋賀県精神障害者患者会）	ボランティア



滋賀県精神保健福祉協会
辻本哲士 副会長
(滋賀県立精神保健福祉センター所長)



滋賀県精神保健福祉協会
大井 健 会長代理
(滋賀県立精神医療センター病院長)



滋賀県副知事
由布 和嘉子 氏

の方々で賑わいました。

開会におきましては、主催者を代表して、滋賀県知事三日月大造（代読）、滋賀県副知事由布和嘉子）と、滋賀県精神保健福祉協会大井健会長代理（滋賀県立精神医療センター病院長）より挨拶がありました。

講演に先立ち、滋賀県精神保健福祉事業功労者知事表彰ならびに、滋賀県精神保健福祉協会表彰式をとり行いました。両表彰は、滋賀県において精神保健福祉に功労のあった団体、個人を表彰し、滋賀県における精神障害者の保健福祉の一層の向上を図る表彰です。

表彰式終了後、ゴスペル歌手の市岡裕子様による講演「あなたはひとりじゃない」が始まりました。吉本新喜劇座長であった岡八朗さんのご令嬢であり、

母親の自死、弟の死、父親のアルコール依存症などの苦難をのりこえ、周りの方々の支えやゴスペルとの出会いがあった工ピソードも併せてお話しくださいました。（講演内容については次回詳しく掲載いたします。）

講演後のコンサートでは「Amazing Grace」愛があなたを待っている」を続けて披露していただき、最後の「I see Good Day」（大阪弁）は会場の参加者が一緒に歌い、一層盛り上がり会場が二つになりました。コンサート終了後のサイン会では興奮冷めやらぬ参加者の方々が購入したCDを手にサインや握手を求め、市岡様との時間を過ごされました。

最後に滋賀県精神保健福祉協会の辻本哲士副会長（滋賀県立精神保健福祉センター所長）

より「こころの健康フェスタ2018」の閉会の挨拶があり、盛会の内に閉会いたしました。

終わりにりましたが、御後援いただきました大津市・滋賀県教育委員会・大津市教育委員会・滋賀県医師会・公益社団法人大津市医師会・滋賀県社会福祉協議会・大津市社会福祉協議会・滋賀県健康推進員団体連絡協議会・大津市健康推進連絡協議会・滋賀県精神神経科医会・日本精神科病院協会滋賀県支部・滋賀県精神科診療所協会・株式会社エフエム滋賀・BBCびわ湖放送・NHK大津放送局の皆様、またご協力をいただきました滋賀県精神障害者地域支援事業所協議会等関係者の皆様、誠にありがとうございました。

（滋賀県精神保健福祉協会

事務局 北村彩奈）



講演する市岡裕子氏



楽々展



サイン会の様子



アルコール相談



開会式

「こころの健康フェスタ2018」 アンケート集計

- アンケート回収数 19
- 回収率 18%(参加者108名)

講演について

- 市岡裕子様、本日は本当にありがとうございました。市岡さんのお話の中で信頼できる人、話を聞いて下さる人の大切さを聞かせていただき、ありがとうございました。あるがままを受け入れる大切さを大切にしたいと思います。
- 受けるのみではなく、あたえてこそ 感謝
- 素晴らしいお話でした。とても勉強になりました。明日からもっともっと自分を変えて行こうと思いました。
- 命の尊さ、支えていく…自分を認めて好きになる。周りの人への感謝あってこそ相手の立場に立って、話を聞くことができる。与えていける人になっていきたいと思う講演会でした。

その他

- 関係者の方々、多くの方の尽力で企画等ありがたい事です。一般の人がもっとたくさん足を運んでくだされば、もっと嬉しいのですが、当事者家族の者として、多くの理解者に働きかける催しになればと思います。
- 初めて参加しました。市岡裕子さんの話が聞きたくて…もっとたくさんの人に参加してもらえるといいのにな～

「第11回アディクション・フォーラムin滋賀」報告

平成30年8月4日(土)、明日都浜大津ふれあいプラザホールにおいて、第11回アディクションフォーラムin滋賀が開催されました。当日は様々な依存症の回復者や支援者、一般住民の方や自助グループのメンバー、医療、福祉、行政関係者、学生等、これまで最多の223名に参加を頂くことができました。

このフォーラムは、自助グループは県内にたくさんあるけれどもつながりがない、一般の方に依存症のことをもっとよく知ってもらいたい、という思いを込めて始めました。第11回目である今回は「仲間を見つけた、希望を見つけた～本人、家族、依存症あるある～」というテーマの下、アディクションの中でもギャンブル依存に焦点をあてながら、本人だけではなく家族の思いも広く知ってもらいたいという思いで開催されました。

内容は仲間の体験談として、断酒会(アルコール依存症)、断酒会家族会、AA、NA(薬物依存症)、ACA(アダルトチルドレン)、GA(ギャンブル依存症)、ギャマノン(ギャンブル依存症家族)、DA(買い物依存症)等、県内県外問わず様々な自助グループの方々のお話を聞くことができました。また、びわこダルク「淡海響組」による和太鼓演奏においては、薬物依存症から回復された方々の力強い演奏が会場参加者の心に響き渡りました。その他にはヒューマンライブラリー(※)や、ミニミーティングにおいては自助グループの体験ができ、グループ運営の分かち合いの場においては、自助グループを運営していく上での困難さを話す事によって大変さの分かち合いをすることができました。

講演会は公益社団法人ギャンブル依存症問題を考える会の代表理事でもある、田中紀子氏をお迎えし、「ギャンブル依存症からの脱出～借金解決よりも自助グループへ～」をテーマにご講演を頂きました。田中氏ご自身がギャンブル依存当事者であり、また家族であり、現在は支援者という立場でもあるという方で、それぞれの立場を体験された方ならではのお話を聞かせて頂くことができました。「自助グループには同じ問題に悩む当事者や家族の知恵が詰まっている。困っている当事者や家族の助けとなるということをもっと魅力的に今悩んでいる方々に伝えて欲しい」と話されていました。県外での行政と家族の自助グループとの好連携例等もお話下さいました。

依存症というのは生き方の病と言われています。見えない回復に悩んでいる当事者や家族の方々が、まだまだ多くおられます。一人でも多くの方にフォーラムを通じて、希望を見出していただける様に、来年度の開催を目指して頑張っていきたいと思っております。

(※)ヒューマンライブラリー:障害や社会的マイノリティを抱える人に対する偏見を減らし、相互理解を深めることを目的とした試み。「人を本に見立てて読者に貸し出す図書館」という意味で、参加者と自助グループの方が一対一で対話をする。

(滋賀県立精神保健福祉センター 後藤 有加)

第10回
記念
記

ピアサポートフォーラム滋賀 2018



昨秋10月27日(土)ひこね市文化プラザメッセホールにおいて第10回目となるピアサポートフォーラム滋賀が、サタデーピア・ピアサポートクラブが実行委員となり開催されました。今回は記念大会として2008年度の第1回大会のゲストでもあった前田ケイ先生をお迎えして、午前の第一部では県内各地のピア活動報告やパフォーマンス、午後からの第二部は前田先生の講演やワークショップでした。大阪や京都からの参加もあり総勢100名を超える盛況でした。このフォーラムは第7回までNPO法人サタデーピアピアが主催して

きました。第8回大会からはピアサポーター養成講座の修了者を中心に設立されたピアサポートネットワーク滋賀が実行委員会形式で開催し、県内のピア活動が着実に実績を重ねて行くための貴重な情報交換や研修の機会となっています。2019年度は障害者相談・生活支援センターやすらぎのピアサポートwishが担当して開催予定です。関心をお持ちの多くの皆さまの参加をお待ちしています。(サタデーピア・ピアサポートクラブ)

滋賀県精神保健福祉協会

入会のご案内

県民、民間団体、医療、行政などが一体となり、精神保健福祉に関する知識を広く県民に普及啓発し、障害のある人もない人も共に暮らしよい社会づくり、「こころの豊かな社会」の実現を目指し活動しております。1人でも多くの方々とともに活動をつづけて参りたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

皆さまのご入会をこころよりお待ちしております。くわしい内容については、下記へお尋ねください。

会費(年額)

○一般会員 この会の趣旨に賛同して入会した個人または団体

個人会員 1,000円 団体会員 10,000円

○賛助会員 この会の事業を賛助するため入会した個人または団体

個人会員 1,000円 団体会員 20,000円



●事務局 〒525-0072

滋賀県草津市笠山8丁目4-25 滋賀県立精神医療センター内
TEL/FAX 077-567-5250

伝 言 板

精神障害を理解するつどい (平成30年度精作連研修事業)

日 時…平成31年2月10日(日)
13時開場 13時30分開演

場 所…野洲文化小劇場

上 映…ドキュメンタリー映画 あい ~精神障害と向き合って~

主 催…滋賀県精神障害者地域支援事業所協議会

参加費…無料

問合せ…TEL 077-586-7338 (陽だまり)

酒害対策普及啓発事業 市民公開セミナー

日 時…平成31年2月16日(土)
13:30~15:30

場 所…栗東市 ウィングプラザ 4階研修室E (JR栗東駅前)

基調講演
演題『あなたは、お酒に悩んでいませんか』
滋賀県精神医療センター 精神科部長 濱川 浩
体験発表 (本人・家族)

主 催…公益社団法人 全日本断酒連盟 滋賀県断酒同友会

参加費…無料

問合せ…TEL 0748-72-3792 (滋賀県断酒同友会)
TEL 077-567-5010 (滋賀県立精神保健福祉センター)

滋賀県自殺対策当事者活動支援事業

日 時…平成31年2月23日(土)
13:00~16:30 (受付12:30~)

場 所…草津市立市民交流プラザ 大会議室
(フェリエ南草津5F)

内 容 「がんばらないけど、あきらめない生き方」2019 (若年層向)

第1部: 「私たち___死なずに生きてる、
そして、生きてく」
咲 セリ氏 (作家、WEBデザイナー)
カジ氏 (セリ氏のご主人様)

第2部: 放談会

主 催…滋賀県精神障害者家族会連合会 (鳩の会)

参加費…無料

問合せ…TEL 尾畑 (携帯) 080-1421-5904
滋賀県精神障害者家族会連合会 (鳩の会)



編集後記

◆2018年今年の漢字は災ということになったようです。振り返ってみれば多くの災害が日本列島をおそいました。7月の西日本豪雨では岡山、広島、愛媛などで多数の死者が出ました、9月の北海道地震では大規模な土砂崩れとともに全域停電(ブラックアウト)が起きました。9月には第2室戸台風をしのぐ台風21号の暴風雨のため関西空港が冠水しました。滋賀県は比較的被害が少なかったとはいえ、7月豪雨でも、9月台風でも死者が出ています。6月には米原市で竜巻被害がありましたし、台風20号では彦根城の天秤櫓の壁が崩れました。2019年はいよいよ平成最後の年になります。新しい年号の時代には災いを転じて福となすことができるでしょうか。

◆2018年は、さまざまなスポーツ分野で日本人選手の活躍がみられました。年初の冬季五輪では過去最多のメダルが得られ、中でも羽生結弦選手は男子フィギュアを2連覇し、のちに国民栄誉賞を受けました。カーリング女子の活躍によって「ソダネー」が流行語になりました。テニスでは大坂なおみさんが全米オープンを制しましたし、野球では大谷翔平選手が二刀流でMLB新人王を獲得しました。来る2020年東京オリンピックでも多くのアスリートの活躍が期待されます。一方、日大アメフト部の悪質タックル事件を機にパワハラ事件が数多く取り上げられ、スポーツ界だけでなく組織と個人をめぐるあり方を考えさせられました。

◆京都大特別教授の本庶佑先生がノーベル医学生理学賞を受賞されました。長らくノーベル賞の有力候補と言われてきましたが、免疫チェックポイント阻害剤オプジーボの開発によって、がんの免疫療法に大きく道を切り開いたことが評価されました。免疫部門では滋賀県出身の坂口志文先生の受賞も期待されていました。制御性T細胞の発見という画期的な業績ですので、がんだけでなくさまざまな自己免疫疾患への応用が可能です。精神医学の分野では近年、統合失調症・うつ病の軽症化や、発達障害の増加など病像の変化がみられます。現在のところ精神疾患の原因に迫る治療法は未確立ですが、やがてプレイクスルーがおこり、新しい治療法の見出されることが期待されます。

◆1998年以降長らく自殺者数が3万人を超えていましたが、自殺対策基本法の改正などを踏まえ、官民あがりの自殺対策が進むことで、2017年には2万千人台となっています。しかしその中でも未成年者の自殺者数は減っておらず、自殺者全体の26%を占めています。さまざまな要因を考慮していく必要がありますが、子どもの精神疾患の初期症状に早期に気づき適切に対応できていれば、防げる自殺も多いのではないかと思います。しかしこれまで学校教育現場ではなぜか精神疾患について教えられてきませんでした。精神保健について高等学校の学習指導要領が見直され、2022年入学者から適用されることとなります。我が国の精神保健医療福祉が改善していくためには、精神医療の質の向上とあわせて、精神疾患に関する正しい理解を進めていく必要があると思います。(滋賀県精神科診療所協会 上ノ山)

会員数

平成30年12月31日現在

一般会員	個人会員	113人
	団体会員	35団体
賛助会員	個人会員	5人
	団体会員	4団体
サポート会員		7団体